



1、期間

平成 28 年5月27日(金)

2、訪問先

熊本県益城町 特別養護老人ホーム ひろやす荘

3、目的

(1)アドバイザー派遣。気仙沼で5年間復興の中心として尽力された同じ業種の「社会福祉法人キングスガーデン宮城」の山崎本部長と佐藤由美子さんを HJP の特別顧問として同行頂く。

(2)6月4日に開催予定の尾道&気仙沼グルメイベントの打ち合わせ。

二回目の熊本県益城の特別養護老人ホーム「ひろやす荘」
に行ってまいりました。

今回は HJP の特別顧問として気仙沼から、アドバイザーの
お二人を益城にお連れさせて頂きました。ひろやす荘と同じく、
営されていて、

5年間気仙沼の復興に尽力された気仙沼キングスガーデンの
山崎本部長と、事務長の佐藤由美子さん。ひろやす荘の理事長
と施設長と、気仙沼のお二人は被災状況は違えど、仕事も立場
も驚くほど似ているので、僅か1時間半の滞在でもかなり精神
の奥の部分での深いお話が出来ていたように感じました。



同じ状況を味わってる人同士だからこそ、分かり合える事があり、5年間経験されてるお二人だからこそ自らの経験で話せる事があるので、とても良いお引き合わせになりました。

施設長の永田恭子さんと佐藤由美子さんの出会いは個人的に願っていた事なので考え深かったです。

今回は写真撮らなかったですが、減っていくニュースと反比例して状況はまだまだ厳しいです。

ただ、益城までは高速道路が開通。福岡空港を 13:00 に出発して、益城まで高速道路で行けて(前回は玉名までだった)

14:58 には益城ひろやす荘に到着しました。

道路は良くなっていたものの、やはり奥に入ると全く状況は変わらずでした。黄色い紙と赤い紙が辛い。危険と書いてある赤い紙は、見た目ではわからない綺麗なままの家にも貼ってありました。

山崎本部長、由美子さんも益城の奥に入った瞬間の景色の違いに驚いてました。

到着したら 4.24 以来の永田恭子さんと、生活相談員課長の楠田さんが迎えて下さいました。お二人共あれから何度も連絡してるので、懐かしい友達に会ったかのような感覚もありますが、ここまで1日1日がしんどく、今日まで長かっただろうなと思う方がまだ強いです。いつか、このお二人とも、山崎親分や由美子さんのように一緒に飲みに行ったり笑ったり出来たらいいなと思いながら、早くその日が来るまでお手伝いをしなければと思いました。

由美子さんの話は、自分のあの時の立場と今思うこと。当時あまりにもボランティアが来てくれたり、色々な人が来てくれすぎて毎日ありがとうを言っているうちに、ありがたいに疲れてくる時があったと。全て善の気持ちなので嬉しい気持ちがありながら、そこに慣れていく自分を受け入れられない葛藤があったと。

東北震災の時に比較的早く来てくれた人の言葉で、

こうゆう事態には第四までの波があると。第一は、災害支援部隊、そして、第二が医療関係者など、第三が、ボランティア。

そして、災害が世の中に忘れかけられてる時も変わらず応援しに来てくれる人達が第四の波。この第四の波が、これからあなたを助けてくれる人

だと、由美子さんは言われたそう。

震災直後の忙しい時期だったので、全くその言葉が入ってこなかったけど、今になって思うと本当にその通りだったと。

そして、「あの時（2011年）は、被災地を離れたらダメなんじゃないかという気持ちがあった。でも池永くん達、JCのみなさんが震災年の8月に復興支援イベントに呼んでくれて、初めて被災地を離れた。その時に瀬戸内の綺麗な海を見て、**暗い気持ちよりも、こんな街にしたいとか、これからこうゆうのを創っていきたいという建設的思い**になれた。

だから、ダメだと思わず、後ろめたい気持ちも一度消して、そこから気分を変える為に少し離れる勇気も大事。」という言葉をかけておりました。

施設長の永田恭子さんも、忙しさと非日常的な毎日にしばらくハイになってしまい、興奮状態で眠れなくてもしんどくないと。

そんな話をした時は、山崎さん、由美子さんは、「私達はそれが一年続いたよ」と。

そして由美子さんも一番心配してたのはスタッフのこと。突然ガクッとくるので、心のケアは大事。

ひろやす荘に泊まり込みで働いてる恭子さんに、頑張りすぎちゃダメよと、家に帰る事を勧めておられ、恭子さんもきっかけを探してたとの事でこれから帰る事に。

ここから、話は随分と盛り上がってましたが、池永は6月4日の、ひろやす荘での「てっぱんお好み焼&気仙沼グルメとミュージック！爽やか瀬戸田レモンスカッシュはいかが？？」の打ち合わせがあるので、その後は席を離れました。

今回は急遽、熊本と一緒に来て下さった山崎本部長はキングスガーデンさんからお見舞いも持って来て下さいました。短い滞在の為に本当に感謝です。



池永打ち合わせ。生活相談課長 楠田さんと。

6月4日土のイベント会場視察。

ここのスタッフの皆さんや、ご家族、避難所の方々が少しでも元気になれる楽しいイベントを開催します。こちらメンバーは20名以上。楽しい企画が出来そうです。

全ては支援者のみなさんのお陰。

富司純子さんや、井ノ原氏、浜中先生、大田原さん、湯浅さんの資金応援のお陰で、思いっきり采配振るえております。HJP の小堀理事長、島田副理事長や、渡邊さんにアドバイスを受けながら、HJP メンバーの代理としてしっかりとさせていただこうと思います。長期に渡る応援はまず人間関係。この人間関係がしっかりと現地で出来てこそ、正確な情報がわかり、的確な応援が出来る。第二回はそういう意味では第三回に向けてのイベントにもつながる大切な時間となった。



三人はたった 1 時間半の滞在で、そのままトンボ帰り！！

初の九州上陸のお二人なのに、観光はサービスエリアのみ(涙)それでも喜んでおられたのが面白かった。

しかも、この日はお二人東京に飛行機で行かれる予定が突然羽田が閉鎖！！ 韓国の飛行機から煙が出たそう。緊急に新幹線に変更するも最終が博多駅から 18:58 分発！

福岡空港の現時点で「18:40 分」だったので、間に合わない恐れもあったので、三人で猛ダッシュで走りまくり、ギリギリ新幹線に滑り込み(笑)

汗まみれで、ヘトヘトで帰って行かれたお二人。こんな数奇な事が、このお二人にはよく起こります。

大変な事なのに滑稽で、三人で大笑い。

ちなみに、私は尾道帰りなのでよく考えると走る必要はなかった(笑)

またこれも、良い思い出です。

本当に忙しい中、遠い気仙沼から駆け付けて下さりありがとうございました！

NPO 法人 Happy Japan Project 池永憲彦 記